

ガラスにまつわるエトセムラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

新年度が始まりました。ガラス美術館でも4月5日(水)から新しい展覧会が始まります。今回は長野県在住のガラス作家加倉井 秀昭（かくらい ひであき）さんの展覧会です。

加倉井さんは吹きガラス技法である、「ケーンワーク」を主に使って制作をされています。ケーンワークとは、色ガラス棒を使って様々な模様や装飾を表現する技法で、イタリア発祥の「レースガラス」と呼ばれる作品もケーンワークの表現方法のひとつです。

加倉井さんはこの伝統的な技法をアレンジして、独自の表現方法を模索しています。今回の展覧会チラシに掲載したウランガラス作品「Refrain（ルフラン）」もそのひとつです。ルフランはフランス語の読み方です。日本語には「繰り返し」と訳すことができます。作品名の由来は、ガラス棒を使った模様が同じ方向へ繰り返しねじれているように見えるため、とのことでした。

加倉井さんは他にもケーンワークで様々な作品を制作しています。ひとつの技法の中でも、作家によって表現の幅が大きく異なる面白さに着目してご覧いただければ幸いです。



加倉井さん制作「Refrain」



加倉井秀昭さん

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

入学・進級時期の交通事故防止期間 (4月6日～4月15日)について

1 飛び出しは絶対にダメ!!

子どもは頭では危険だとわかっているけど、遊びに夢中になると飛び出したりしてしまいます。「道路に出たり渡ったりするときは、いったん止まって、車が来ないことを確認する」「横断歩道以外は渡らない」といったことを日頃からくり返し教えて、習慣付けましょう。

2 信号が青でも油断禁物!!

道路を横断するときは、青信号や横断歩道上でも安心せず、黄信号で無理な進入をする車や、歩行者に気づいてない車もあります。車が来てないことや止まっていることをよく確かめてから、慌てずに横断するよう教えましょう。

3 子どもと一緒に安全確認を!!

子どもと大人では目の高さが異なります。子どもの目線で道路に潜む危険を確認し、「なぜ危ないのか」「何に注意したらいいのか」を子どもにも具体的に考えてもらい、危険を判断することや交通ルールを守ることの大切さをしっかり教えましょう。

4 自転車も車です

交通ルールを守りましょう

中・高校生の交通事故の大半が、自転車に乗っているときに起きています。交差点での出会い頭や右左折時には特に注意して事故にあったときのために、ヘルメットを着用しましょう。

5 子どものお手本に!!

子どもは身近な大人の行動を見て育ちます。交通ルールも同じです。大人が交通ルールを正しく理解し、交通マナーを守った安全な行動を実践して手本を示しましょう。

6 ゆずる・とまる・まもる

おもいやりのある運転を!!

道路で子どもを見かけたら、自動車やバイク、自転車は速度を落とし、安全を十分確認して運転してください。通学路では一層の思いやり運転を心がけましょう。

※ 令和5年春の交通安全県民運動は、5月11日(木)から20日(土)までの10日間展開されます。

お問い合わせ先 鏡野町くらし安全課 生活安全係 電話 (0868) 54-2621